



宮城県女川町では2014年3月、女川湾を望む高台に災害公営住宅(女川町営運動公園住宅、200戸)が完成した。隣接する仮設住宅(写真:右下)などから、被災された方々が引っ越して新たなコミュニティーが生まれつつある。被災した市街地(写真:奥)では、復興市街地整備事業の造成工事が進んでいる

〈特集〉

# 目に見え始めた復興 さらに加速へ

東日本大震災から3年が経過した。  
 災害公営住宅が各地で次々と竣工し、入居が進む。  
 市街地造成の工事も進行し、一部では元の住民の住宅づくりが始まった。  
 東北の復興が、ようやく目に見える形になりつつある。  
 そして、現場では復興をさらに加速させるための取り組みが、全力で行なわれている。

C O N T E N T S

2	[巻頭インタビュー] <b>中村雅俊</b> さん 「震災を忘れるな」。その思いを全国に		
5	<b>CASE 1</b> [宮城県] <b>女川町</b>	17	<b>URの復興支援</b>
9	<b>CASE 2</b> [岩手県] <b>陸前高田市</b>	21	<b>クロスワードパズル&amp;プレゼント</b>
13	<b>CASE 3</b> [福島県] <b>いわき市</b>	22	<b>URからのお知らせ</b> 大船渡市の2地区で災害公営住宅が竣工 フォト&スケッチ公募展の作品募集開始
15	<b>CASE 4</b> [岩手県] <b>野田村</b>		

季刊「ユアールプレス」  
vol.37 (2014年 5月)

発行 独立行政法人都市再生機構  
〒231-8315  
神奈川県横浜市中区本町 6-50-1  
横浜アイランドタワー  
Tel. 045-650-0892  
Fax. 045-650-0889

編集・制作 I&S BBDO  
デザイン ボールドグラフィック  
印刷 大日本印刷

表紙は、陸前高田市の復興事業の現場近くで、ヘルトコンペヤー（吊り橋）を背にする子どもたち。名称公募で優秀作（「希望のかけ橋」）に選ばれる